

令和6年度 第3回学校運営協議会 報告

【日 時】 令和7年2月4日（火） 9時00分～11時30分

【会 場】 さいたま市立和土小学校 多目的室

<次 第>

1 開会

2 あいさつ（校長より）

3 学校評価について（教頭より）

（1）児童・保護者・職員による学校評価報告

（2）学校自己評価結果について

（3）学校運営協議会による評価について

- ・保護者アンケートの回収率前年に比べ低くなっている。保護者の関心が低いこともあるが、回答期間の設定などについて工夫があるとよい。
- ・児童のアンケートは肯定的な評価が多く、大きな問題もなく、安定していてよいと思う。
- ・国語力の向上について、今後花笑み教育を充実させていきたいと考えている。中学校から派遣される教員は今年度はG・Sと体育だが、国語や数学の担当も検討していきたい。また、小学校の先生を中学校へ迎えることも考えていく。中学校からの交流も生かして、児童の意欲が高まるようにしていきたい。
- ・中学校の先生が小学校で教えてくれるのはよいことだが、小学生に伝わりやすいようにしてけるとよい。
- ・国語力向上については、授業の工夫が大事であると考えている。授業中、児童はよく頷いて話を聞いているが、中には話が分かってないままのこともある。単語の意味が理解できてないこともあり、ICTを活用することがよいことばかりなのかは考える必要がある。
- ・ICTの活用が学力向上に直接つながるというエビデンスはどの程度あるのか。
- ・全国学力・学習状況調査やさいたま市学習状況調査で重視される学力は、情報を活用し、課題を解決するとともに、発信することができるということが重視されている。また、学んできたことを、実社会で生かすことができるようになること「汎用性のある学び」を目指している。
- ・学習の在り方としては、「習得」から、「探求」を重視するようになってきている。そのためにタブレットを有効に活用していきたい。
- ・授業参観でタブレットと教科書などを児童が選択している学級があったが、両方を上手く使って児童が学習を進めていることがよかった。
- ・前年よりも、学習の進め方に前進が見られ、児童も成長していると感じた。

4 授業参観（2校時）

5 子どもいじめ防止対策委員会（生徒指導主任より）

（1）3学期の児童の様子

（2）いじめの実態の報告

（3）今後の対応について

- ・現在のいじめに対する対応と保護者の世代のもっているいじめに対するイメージに隔たりが大きく、理解を得ていくことが必要であると考えている。
- ・先生も難しい立場におかれている。よかれと思っても、相手の捉え方によっていじめと考えられるケースになるようでは先生も苦勞する。
- ・家庭の役割も大きいのではないかと。保護者は母親だけでなく父親の意見も大事であると思う。和土の地域は保護者同士の交流もあり、極端に感じる意見は少なかった。
- ・和土小はクラス替えがないが、メリットとデメリットがある。本校の実態をよく把握し、児童に寄り添い、粘り強く対応していきたいと考えている。

6 令和7年度学校運営に関する基本的な方針の仮承認について（校長より）

- ・令和7年度の授業日数変更による教育の質を確保しての子どもと向き合う時間の確保、カリキュラムマネジメントの必要性について説明した。
- ・学校教育目標、目指す学校像、目指す職員像、学校経営方針、学校経営方針の具現化について説明し、出席委員より仮承認を得た。

7 閉会